

「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」の解説

1 梅雨明けの発表

沖縄地方は、太平洋高気圧に覆われておおむね晴れています。

今後も、引き続き太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。このため、沖縄地方は6月 29 日頃に梅雨明けしたと見られ、沖縄気象台は6月 29 日 14 時 00 分に「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」を発表しました。

2 今年の「梅雨明け」は 6 月 29 日頃(階級:「遅い」)

平年より 8 日遅く、昨年より 22 日遅くなりました。

(1) 平年は6月 21 日頃

(2) 昨年(令和7年)は 6 月 7 日頃

(3) 1951 年(昭和 26 年)からの統計

ア 最も早い梅雨明けは 2025 年(令和 7 年)の 6 月 7 日頃

イ 最も遅い梅雨明けは 2019 年(令和元年)の 7 月 10 日頃

【参考】

梅雨明けの時期の階級(沖縄地方)

かなり早い	早い	平年並	遅い	かなり遅い
～6 月 10 日頃	6 月 11 日頃～ 6 月 20 日頃	6 月 21 日頃～ 6 月 23 日頃 <u>平年:6 月 21 日頃</u>	6 月 24 日頃～ 6 月 29 日頃	6 月 30 日頃～

注 1. 梅雨は季節現象であり、その入り明けには、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

注 2. 「平年」は、2020 年(令和2年)までの過去 30 年の平均の日付です。

3 今年の梅雨期間(5 月 4 日～6 月 28 日)の降水量・日照時間(速報値)、平年値及び平年比

地点名	降水量(単位:ミリ)			日照時間(単位:時間)		
	観測値	平年値	平年比(%)	観測値	平年値	平年比(%)
那 覇	854.0	501.8	170	212.2	269.9	79
名 護	774.5	479.2	162	223.6	262.5	85
久 米 島	970.5	544.8	178	238.5	267.4	89
南大東島	497.5	406.9	122	273.3	351.8	78
宮 古 島	466.5	396.1	118	255.2	310.5	82
石 垣 島	540.5	383.5	141	313.6	342.0	92
西 表 島	437.0)	340.6	128	300.6)	335.3	90
与那国島	579.5	348.5	166	296.5	296.0	100

※かっこ「)」付きの値(準正常値)は、一部観測データが欠けていますが、正常な値として扱います。

4 今年の梅雨の特徴

沖縄地方は、5 月 4 日頃(平年より6日早い)梅雨入りしたと見られ、6月 29 日頃(平年より 8 日遅い)梅雨明けしたと見られます。5 月 4 日から 6 月 28 日の期間降水量は、沖縄地方の各地点で平年を上回りました。また、日照時間は、多くの地点で平年を下回りました(項目3の表を参照)。

月別にみると、5 月の沖縄地方は、梅雨前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、線状降水

帯が発生する等、大雨となった所がありました。期間の後半は先島諸島を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

6月の沖縄地方は、梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込み、前線周辺の対流活動が活発となった影響や、台風第6号および台風第7号の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となった所もありました。沖縄本島地方では1日および15日、先島諸島では10日および28日は、複数の地点で日降水量100ミリを超え、特に、1日は国頭で229.5ミリ、15日は渡名喜で230.5ミリの日降水量を観測し、いずれも6月としての極値を更新しました。

注) 梅雨の時期に関する気象情報は、現在(本日)までの天候経過と1週間程度あるいはその先までの天候の見通しをもとに、速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。

※「令和8年の梅雨入りと梅雨明け(速報値)」：https://www.data.jma.go.jp/cpd/baiu/sokuhou_baiu.html